



成長が感じられた「最高の授業」

校長 松井克仁

2月13日(火)～16日(金)に行われた「最高の授業」公開では、多くの保護者の方にご参観いただきありがとうございました。昨年度までは1つ下の学年の児童だけの参観でしたが、今年度は保護者の方にもご覧いただくことができました。子供たちは、自分たちの最高の授業の姿を見てもらおうと、少し緊張した様子でしたが張り切って取り組んでいました。

この授業に先立ち、それぞれの学級でめあてを考えました。そして、「最高の授業」公開に向けて日々の授業の質を高めてきました。以下に各学年のめあてを紹介します。

【「最高の授業」の各学級のめあて～そのために頑張ること～】

(1年1組) めあてに向かって協力しながらやる学習～足ペタ・ピン・トン・目はきりり～

(2年1組) みんながいい気持ちで授業ができる

～授業が始まる前に着席し、元気にあいさつする・話す人を見て静かに話を聞く～

(3年1組) 仲間と挑戦し、仲間から学んで全員が輝く授業

～先生や仲間の話をよく聞き、自分の考えに合った反応をする～

(4年1組) 話し手が安心できる授業～話し手に体を向けて聞く・大きな声で素早く反応～

(5年1組) 他学年への手本となる授業～全員挙手・話す人を見る・きりかえ～

(5年2組) 下学年の手本となる授業～自分から・姿勢・きりかえ～

(6年1組) 仲間と語り合い、ハンドサインで考えを示す授業

～時間いっぱいいろいろな人と考えを伝え合いながら交流する・ハンドサインを使い必ず相手の意見に反応する～

このめあてにあるように、どの学級も仲間の意見をしっかりと聞く(6年生は「聞く」だけでなく「交流」がめあてです。さすがです。)こと、仲間の意見に反応すること等、仲間と考えを交流し、自分の考えを広げ深めるための土台となる部分を大切にしています。これらのめあては、「自分たちはこんな最高の授業をつくりたい」「こんな授業を見てもらいたい」と、学級で話し合っただけのものではなく、めあてに掲げられた姿は、今回の「最高の授業」に限ったことではなく、毎日の授業で自分たちが大切にしてきた姿であるとも言えます。それを1年のまとめの姿＝「最高の授業」として表現したのです。子供たちも担任も違うのはずなのに、すべての学年のめあてが同じようなめあてでつながっています。このように、全校が同じような姿を目指しているからこそ、どの学年の授業を見ても話し手に体を向けてしっかりと聞き、話し終わったら「分かりました」「なるほど」等の反応で応える姿が見られ、さらに学年が上がるにつれその質が高まっていくのだと納得しました。

また、授業を参観した児童が、「ほとんどの子が手をピンピンに挙げていたし、大きな声で反応していたのですごいと思いました。わたしもこんなふうになれるように頑張りたいです。」と、目を輝かせて感想を話してくれました。

このように、授業を公開した子供たちには自分たちの成長を確かめる機会に、また、授業を参観した子どもたちにとっては憧れや次の目標もつ、とてもよい機会になりました。



【最高の授業の様子(6年生)】